



苗木中だより

NO. 4 7月号
令和8年6月24日発行

少年の主張中津川市大会～わたしの主張2026～ 優秀賞

6月19日（金曜日）に第45回市少年の主張中津川市大会～わたしの主張2026～が福岡中学校を会場に開催されました。苗木中学校からSさんが出場しました。

『言葉の「重み」を置き去りにしない』をテーマに何気ない一言が相手を傷つけてしまうことを自分の経験を交えながらしっかりと主張し、優秀賞をいただきました。



中学校総合体育大会（中体連）

6月20日（土）から中学校総合体育大会の東濃地区大会が始まりました。本校からは野球・ソフトテニス・卓球・バレーボール・バスケットボール・サッカーなど多くの種目で参加する生徒がいます。今までの練習の成果を発揮して活躍してくれることを期待しています。

さて、最近の中体連ってよくわからないと思われる方が多いのではないのでしょうか。正直、学校も混乱する時があるぐらいですから…。児童生徒数の大幅な減少。国が想定している以上の少子化。それに伴い、かつては各学校に複数の部活動を有することができていたのに、部員が集まらずチーム編成ができない部が出てきました。その結果、廃部や休部となった部も少なくありません。全員加入が当たり前だった部活動も今は任意加入が主流になりました。生徒のスポーツをする機会を保障する意味でも、R4年にガイドラインが発表され部活動の地域移行の準備が始まりました。そして、令和8年度からは部活動の地域展開として各市において認定制度がスタートしました。その中で、中体連も変わってきました。かつては学校を代表して参加するものでしたが、合同チームで出場したり地域クラブから出場したりできるようになりその意味は薄くなりました。まだまだ変革する中体連の中で、今まで努力してきた集大成となるよう頑張れ苗中生！！



素敵な姿

先日、出勤途中にこんな光景を見ました。苗木中の生徒が押しボタン式の横断歩道に立っていました。ボタンを押すとすぐに信号が変わりトラックが停車しました。その生徒がわたり終わったあと、止まった車に向かい本当に丁寧なお辞儀をして歩いていきました。小学生の頃は集団登校をしながらリーダーが代表してお礼をしている姿をよく見かけます。しかし、その生徒はたった一人でしたがお辞儀をしてわたっていました。止まるのがあたり前の車に対して、「止まってくださってありがとうございます。」という感謝の気持ちを伝えることができるのは本当に素晴らしいことです。学校外で大人らしい立ち振る舞いができる生徒がもっともっと増えていくといいですね。

ありがとうございました！

6月に入り梅雨の季節になりました。この時期、頭を抱えるのは元気な雑草たちです。学校周辺も多くの雑草地？がありますが、なかなか草刈りすることができません。ところが先日、グラウンド周辺がきれいになっていました。休日に野球クラブの親さん方が草を刈ってくださったそうです。本当にありがたいことです。ありがとうございました。